



平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月4日

上場会社名 株式会社バイク王&カンパニー 上場取引所 東
 コード番号 3377 URL <http://www.8190.co.jp/company/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川秋彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山縣 俊 (TEL) 03-6803-8855
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月10日 配当支払開始予定日 平成26年8月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	10,093	0.0	156	△16.5	239	△12.3	129	△13.3
25年11月期第2四半期	10,090	△4.9	188	86.3	273	53.9	148	△19.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	9.36	9.35
25年11月期第2四半期	10.80	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第2四半期	5,888	4,194	71.1
25年11月期	5,789	4,134	71.3

(参考) 自己資本 26年11月期第2四半期 4,186百万円 25年11月期 4,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	-	500.00	-	5.00	-
26年11月期	-	5.00	-	-	-
26年11月期(予想)	-	-	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株を100株に分割しております。

3. 平成26年11月期の業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,474	△3.4	191	58.7	326	20.8	177	88.0	12.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年11月期2Q	15,290,600株	25年11月期	15,287,600株
26年11月期2Q	1,500,000株	25年11月期	1,500,000株
26年11月期2Q	13,790,089株	25年11月期2Q	13,785,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- (2) 当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。そのため1株当たり四半期純利益および発行済株式数については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策等の効果や個人消費の持ち直し等により緩やかな回復傾向にありますが、消費税増税にともなう駆け込み需要の反動の影響や、海外景気の下振れによる国内景気への影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するバイク業界におきましては、国内におけるバイクの新車販売台数は約42万台(平成25年実績、出所：日本自動車工業会)となっており、前年よりも約4%増加しております。バイク保有台数は1,198万台(平成24年3月末現在、出所：日本自動車工業会)となっており全体として微減傾向にありますが、比較的市場価値の高い原付二種以上のバイクの保有台数は僅かながら増加しております。また、当社の主たる販売先(出品先)である中古バイクオークション市場の相場は、前年同期を上回って推移しております。

このような市場環境のもとで、当社は、「バイク王」を展開するバイク買取事業において、高収益車両の買い取り増加に向けた取り組みを中心に積極的な営業活動を行いました。この結果、高収益車両の買い取りにはある程度の成果が得られましたが、販売台数は前年同期をやや下回る結果となりました。

また、平均売上単価(一台当たりの売上高)は前年同期をやや上回り、平均粗利額(一台当たりの粗利額)はほぼ前年同期並みで推移いたしました。

一方、「バイク王ダイレクトSHOP」を展開するバイク小売事業において、販売台数、平均粗利額は前年同期を下回り、平均売上単価はほぼ前年同期並みで推移いたしました。

このような中、前年に引き続き全社での経費見直しを推進し、販売費及び一般管理費の抑制に取り組むことで、利益の確保に努めました。

以上の結果、売上高10,093,399千円(前年同期比0.0%増)、営業利益156,968千円(前年同期比16.5%減)、経常利益239,781千円(前年同期比12.3%減)、四半期純利益129,044千円(前年同期比13.3%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<バイク買取事業>

バイク買取事業に関しては、上記のとおりです。

以上の結果、直営店舗数は64店舗、セグメント間取引消去前の売上高は8,622,581千円(前年同期比0.2%減)、経常利益は234,621千円(前年同期比62.3%増)となりました。

<バイク小売事業>

バイク小売事業に関しては、商品仕入チャンネルの開拓を推進し、商品仕入力の強化を図るとともに、WEBからのお問い合わせへの対応を強化することで既存店舗の収益力強化を図りました。

以上の結果、直営店舗数は11店舗、セグメント間取引消去前の売上高は2,346,959千円(前年同期比7.7%減)、経常利益は3,368千円(前年同期比96.9%減)となりました。

<駐車場事業>

駐車場事業に関しては、引き続き既存事業地の収益力向上と採算性を重視した事業地開発を推進いたしました。

以上の結果、セグメント間取引消去前の売上高は399,133千円(前年同期比7.5%増)、経常利益は1,792千円(前年同期比90.3%減)となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて261,462千円増加し、4,208,128千円となりました。これは主に、現金及び預金が252,292千円、売掛金が43,682千円増加したためであります。固定資産は、前事業年度末に比べて162,429千円減少し、1,680,210千円となりました。これは主に、敷金及び保証金等の減少等により「投資その他の資産」が131,379千円減少したためであります。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて38,060千円増加し、1,404,323千円となりました。これは主に、賞与引当金が43,076千円、その他引当金が30,708千円増加し、未払法人税等が23,900千円減少したためであります。

（純資産）

純資産は、前事業年度末に比べて60,727千円増加し、4,194,810千円となりました。これは主に、利益剰余金が60,106千円増加（株主配当68,938千円、四半期純利益129,044千円）したためであります。

この結果、自己資本比率は71.1%となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ、252,292千円増加し、2,372,953千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は380,138千円（前年同期は625,781千円の獲得）となりました。これは主に、税引前四半期純利益232,867千円、減価償却費121,644千円、賞与引当金繰入額43,076千円により資金が増加し、売上債権の増加43,682千円、法人税等の支払45,660千円により資金が減少したためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は27,620千円（前年同期は37,069千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出57,262千円により資金が減少し、敷金及び保証金の回収による収入83,920千円により資金が増加したためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は100,225千円（前年同期は91,235千円の使用）となりました。これは主に、リース債務の返済による支出32,213千円、配当金の支払68,752千円があったためであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成26年1月10日に公表いたしました決算短信に記載の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,120,660	2,372,953
売掛金	252,286	295,969
商品	1,208,573	1,191,423
貯蔵品	15,486	13,115
その他	350,947	335,174
貸倒引当金	△1,286	△507
流動資産合計	3,946,666	4,208,128
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	573,036	541,833
その他（純額）	264,196	266,626
有形固定資産合計	837,233	808,459
無形固定資産	64,489	62,213
投資その他の資産	940,916	809,536
固定資産合計	1,842,639	1,680,210
資産合計	5,789,306	5,888,339
負債の部		
流動負債		
買掛金	154,491	147,726
短期借入金	140,000	140,000
未払金	527,315	519,074
未払法人税等	59,800	35,900
賞与引当金	—	43,076
その他の引当金	5,383	36,092
資産除去債務	31,803	13,825
その他	447,468	468,627
流動負債合計	1,366,262	1,404,323
固定負債		
資産除去債務	219,629	213,320
その他	69,331	75,884
固定負債合計	288,961	289,205
負債合計	1,655,223	1,693,528

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,957	586,417
資本剰余金	605,579	606,040
利益剰余金	3,329,272	3,389,378
自己株式	△395,810	△395,810
株主資本合計	4,124,998	4,186,026
新株予約権	9,083	8,784
純資産合計	4,134,082	4,194,810
負債純資産合計	5,789,306	5,888,339

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
売上高	10,090,844	10,093,399
売上原価	4,451,936	4,914,219
売上総利益	5,638,908	5,179,179
販売費及び一般管理費	5,450,891	5,022,210
営業利益	188,016	156,968
営業外収益		
受取利息	775	756
クレジット手数料収入	29,906	25,224
助成金収入	23,922	26,645
その他	35,159	33,165
営業外収益合計	89,763	85,790
営業外費用		
支払利息	3,726	2,629
その他	689	347
営業外費用合計	4,415	2,977
経常利益	273,364	239,781
特別利益		
固定資産売却益	7	2
新株予約権戻入益	239	119
特別利益合計	247	122
特別損失		
固定資産除却損	391	1,594
固定資産売却損	245	—
減損損失	24,705	5,442
特別損失合計	25,343	7,037
税引前四半期純利益	248,269	232,867
法人税、住民税及び事業税	37,345	23,260
法人税等調整額	62,058	80,562
法人税等合計	99,403	103,822
四半期純利益	148,865	129,044

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成24年12月1日 至平成25年5月31日）	当第2四半期累計期間 （自平成25年12月1日 至平成26年5月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	248,269	232,867
減価償却費	130,935	121,644
減損損失	24,705	5,442
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△253	△779
賞与引当金の増減額（△は減少）	42,210	43,076
受取利息及び受取配当金	△775	△756
支払利息	3,726	2,629
固定資産除却損	391	1,594
固定資産売却損益（△は益）	237	△2
売上債権の増減額（△は増加）	△34,496	△43,682
たな卸資産の増減額（△は増加）	175,702	16,764
仕入債務の増減額（△は減少）	3,106	△6,765
未払金の増減額（△は減少）	△42,598	6,815
その他	89,315	48,761
小計	640,477	427,610
利息及び配当金の受取額	775	783
利息の支払額	△3,726	△2,595
法人税等の支払額	△11,745	△45,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	625,781	380,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,824	△57,262
無形固定資産の取得による支出	△4,527	△11,028
敷金及び保証金の差入による支出	△27,185	△1,669
敷金及び保証金の回収による収入	18,330	83,920
建設協力金の支払による支出	—	△10,000
その他	△4,862	△31,580
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,069	△27,620
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△35,890	△32,213
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	741
配当金の支払額	△55,344	△68,752
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,235	△100,225
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	497,476	252,292
現金及び現金同等物の期首残高	1,780,092	2,120,660
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,277,568	2,372,953

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第2四半期累計期間（自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	バイク 買取事業	バイク 小売事業	駐車場事業	合計	調整額	四半期 損益計算書 計上額(注)
売上高						
外部顧客への売上高	7,192,752	2,527,037	371,054	10,090,844	—	10,090,844
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,447,434	15,409	357	1,463,201	△1,463,201	—
計	8,640,187	2,542,446	371,411	11,554,046	△1,463,201	10,090,844
セグメント利益	144,542	110,271	18,550	273,364	—	273,364

（注）報告セグメントのセグメント利益の合計金額は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「バイク買取事業」セグメントおよび「駐車場事業」セグメントにおいて、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスとなっている、今後の改善が困難と見込まれる事業所等における事業用固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。当該減損損失の計上額は、当第2四半期累計期間においては、「バイク買取事業」セグメントで21,924千円、「駐車場事業」セグメントで2,780千円あります。

当第2四半期累計期間（自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	バイク 買取事業	バイク 小売事業	駐車場事業	合計	調整額	四半期 損益計算書 計上額(注)
売上高						
外部顧客への売上高	7,360,905	2,333,720	398,773	10,093,399	—	10,093,399
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,261,676	13,239	360	1,275,275	△1,275,275	—
計	8,622,581	2,346,959	399,133	11,368,674	△1,275,275	10,093,399
セグメント利益	234,621	3,368	1,792	239,781	—	239,781

（注）報告セグメントのセグメント利益の合計金額は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「バイク買取事業」セグメントおよび「駐車場事業」セグメントにおいて、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスとなっている、今後の改善が困難と見込まれる事業所等における事業用固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。当該減損損失の計上額は、当第2四半期累計期間においては、「バイク買取事業」セグメントで2,164千円、「駐車場事業」セグメントで3,278千円あります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（単位：千円）

セグメントの名称	前第2四半期累計期間 （自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日）	当第2四半期累計期間 （自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日）
バイク買取事業	7,192,752	7,360,905
バイク小売事業	2,527,037	2,333,720
駐車場事業	371,054	398,773
合計	10,090,844	10,093,399

（注）1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 当第2半期累計期間の主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 （自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日）		当第2四半期累計期間 （自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日）		関連するセグメント名
	金額（千円）	割合（%）	金額（千円）	割合（%）	
㈱ジャパンバイクオークション	4,298,629	42.6	5,048,453	50.0	バイク買取事業 バイク小売事業
㈱ビーディーエス	2,330,592	23.1	1,755,786	17.4	バイク買取事業 バイク小売事業

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。